

京都やましろ 旅のたより 10月号

10月号テーマ

「華やぐ秋祭りを楽しむ」

- 1面 木津町「布団太鼓台まつり」
- 2～3面 加茂町「第1回『加茂まつり』開催」
- 3面 旬のイベント情報
- 4面 南山城村「田山花踊り」

編集・発行：京都府山城広域振興局 商工観光室

〒611-0021京都府宇治市宇治若森7-6 TEL 0774-21-2103

E-mail : yamashin-no-shoko@mail.pref.kyoto.jp

インターネットでも御覧いただけます

<http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/topics/>

季節は、少しずつ秋の装いになってきましたね。10月は「やましろ」のいろんな地域で秋祭りが行われます。そこで、今月は、「華やぐ秋祭りを楽しむ」として、木津町さん、加茂町さん、南山城村さんに、個性あふれるお薦め秋祭りを御紹介いただきます。

木津町(きづちょう) ～「布団太鼓台まつり」～

春から秋までの加護を感謝し、豊作を祝って担ぎ出したのが始まりと伝えられています。木津町を代表する秋祭りで江戸末期に始まりました。各御輿倉から豪華に飾られた布団太鼓台が繰り出し、太鼓台に乗った子ども達の打ち鳴らす太鼓のリズムに合わせて町内を練り歩きます。10月22日は御霊神社、23日には岡田國・田中神社の拝殿を巡回。太鼓台は彫刻を施した台に太鼓を組み込み、刺繍を施した布団を三段に載せて屋根としたもので、現在6基が運行しています。



また、巡行に先立ち、「布団太鼓台」のライトアップを行っています。昼間の勇姿とは少し違った御輿を、ぜひ御鑑賞ください。

【「布団太鼓台」のライトアップ】

日時 10月15日(土)午後4時～午後9時

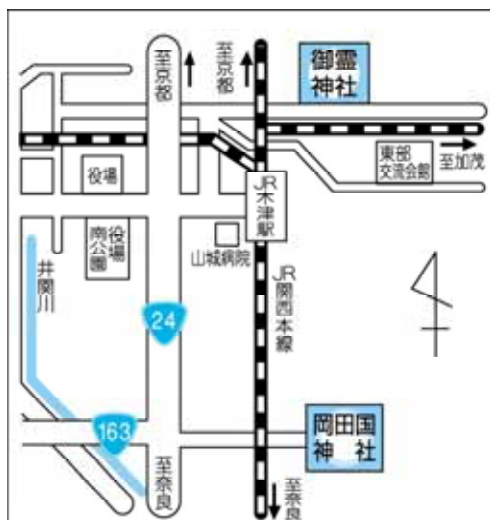
雨天の場合16日(日)

場所 木津町役場南公園

内容 敬神組・社町の御輿2基をライトアップ

問合先 木津町太鼓台運営委員会

吉川 電話0774-72-1346



【アクセス】

<御霊神社> JR関西本線・奈良線・学研都市線
「木津」駅より北へ徒歩10分

<岡田國神社> JR関西本線・奈良線・学研都市線
「木津」駅より国道24号線を経て南へ800m(徒歩約10分)

<田中神社> JR関西本線・奈良線・学研都市線
「木津」駅より奈良交通バスで「神田」下車、南へ徒歩約10分

加茂町(かもちょう) ~第1回「加茂まつり」(10/29、30)開催~

昨年まで、「恭仁京～秋桜まつり」として、賑わいをみせた加茂町の“まつり”は、今年から町内一円を会場に見立てた「加茂まつり」として、一新します。

会場は、JR加茂駅前の駅東公園をメイン会場に総合案内機能を設け、コスモスで彩られた恭仁京会場、秋色に色づきつつある当尾会場をシャトルバスで結び、この日だけしかない“特別な加茂”をお見せします。

【加茂会場】

メイン会場となる加茂会場では、《人・モノ交流空間》として、特設ステージを設け、ライブショーを行います。奈良バサラや太鼓ショーなどの躍動感あふれる舞台や、寄席・大道芸・ミュージカルなど笑いあふれる舞台を展開します。

また、地元加茂町を始め、全国の“うまいもん”が集まる「うまいもん市」では、きっと食通もうなる、おいしさに出会えます。地元の新鮮な「野菜市」、ガーデニングの「直販市」も見逃せません。

【恭仁京会場】

ところ変わって、恭仁京会場。ここは、《文化・芸術空間》です。

辺り一面のコスモスの中、土舞台ではJAZZライブ等の音色が自然の中、響き渡り、それは、恭仁京という都が置かれた古(いにしえ)を呼び覚まします。

また、手作りにこだわった作品や地元の野菜、食べ物が並ぶ「瓶原市」、絵画・陶芸・織物・生け花の展覧会で優れた作品の展示や、溶接・絵付け・ろくろ回し・ステンドグラスづくりなどの体験を楽しんでいただけるコーナーも設ける予定です。

【当尾会場】

《歴史・自然散策空間》当尾会場では、吊り棚による地元新鮮野菜の販売、散策を楽しめる沿道では、「湯茶のサービス」もあり、訪れる人々に癒しを感じていただけます。

このまつりで必見なのが“加茂の三塔特別展”。普段、見ることの出来ない国宝・重文・秘仏をこの日に限り、同時に一挙公開。浄瑠璃寺・岩船寺・海住山寺の各寺院ご住職の法話も聞けるとあって、貴重な特別展となりそうです。

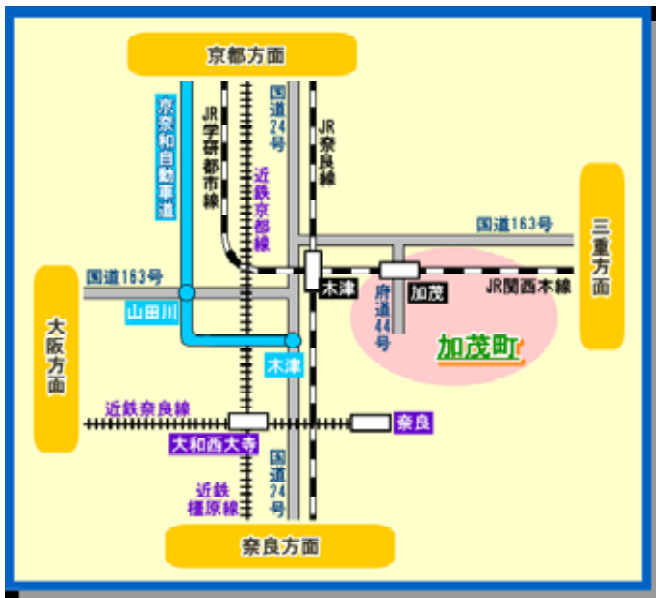
お得な「加茂まつり共通パスポート」(1日間有効)を是非ご利用の上、秋本番を迎える“加茂の町”にお越しください。

【問合せ先】

加茂まつり実行委員会
電話0774-76-2970

(写真：浄瑠璃寺の本堂)





【加茂会場へのアクセス】

・JR関西本線・奈良線・学研都市線
「木津」駅経由、JR関西本線「加茂」
駅下車

各会場へはシャトルバスが運行してい
ます



旬のイベント情報

- 10月6日 **田原祭（三社祭）**（宇治田原町・御栗栖神社他）
（～9日）（宇治田原町総務課0774-88-2250）
- 10月8日 **三ノ宮コンサート～和みの夕べ～**（宇治田原町・三宮神社）
（宇治田原町教育委員会0774-88-5850）
- 10月9日 **上奈良ずいきみこし**（八幡市・御園神社）
（ずいきみこし保存会075-981-2692）
- 10月14日 **大住隼人舞**（京田辺市・月読神社）（京田辺市観光案内所0774-68-2810）
- 10月15日 **源氏ろまん2005宇治田楽まつり**（宇治市・府立宇治公園）
（宇治田楽まつり実行委員会0774-22-5557）
- 10月16日 **城陽茶まつり**（城陽市・荒見神社）（城陽市産業活性課0774-56-4005）
- 10月16日 **ふるさとまつりお茶パーティー・観光シンポジウム「ふるさといいところ発見！」**
（宇治田原町・町総合文化センター）
（ふるさとまつり実行委員会0774-88-6638）
- 10月22日 **「竹の径・かぐやの夕べ～その四～」**（向日市・竹の径）
（向日市産業振興課075-931-1111）
- 10月22日 **布団太鼓台まつり**（木津町・木津町区一円）（木津町経済課0774-75-1220）
- 10月22日 **生涯学習フェスティバル文化祭2005**（宇治田原町・町総合文化センター）
（～30日）（宇治田原町教育委員会0774-88-5850）
- 10月29日）**源氏ろまん2005宇治十帖スタンプラリー**（宇治市・宇治橋周辺一帯）
（～30日）（宇治市商工観光課0774-22-3141）
- 10月29日 **第1回「加茂まつり」**（加茂町・加茂駅東公園、恭仁京跡、当尾）
（～30日）（加茂まつり実行委員会0774-76-2970）

南山城村(みなみやましろむら)
～古式ゆかしく雨ごいの神事「田山花踊り」～



南山城村田山に伝わる雨ごいの神事「田山花踊り」(府の無形民俗文化財)が11月3日に同地区の諏訪神社で行われます。

この「田山花踊り」の起源は、当地の雨乞い願の中で、最高の願かけとして、安永2年(1773年)の飢饉の年に行われたのが始まりと言われ、その時使用された床几一台が残されています。大正末期より途絶えていたものを、昭和38年に復活され、同時に田山区あげての保存会が結成されました。

この踊りは二つの大きな部分に分かれ、前半部分は「入端」(いりは)と呼ばれる道中行列で、後半部分は神社の庭で行われる12段91節の踊りです。行列は旧田山小学校から、愛宕踊りの一番から三番までを踊りながら出発し、足どりは、入端太鼓とホラ貝のリズムに導かれてゆっくりと進みます。

行列は田山諏訪神社へと進み、庭踊りが行われます。大太鼓の上に立ち上がった「神夫知」の少年が、神前を向き軍配を片手に、雨乞い願かけの口上を申し述べると、太鼓の一番手が「ドーン」と打ち鳴らすのを合図に、庭の踊りが始まります。91節にわたる踊りと唄は全部を終えるには、丸々1日、時には2日にわたることもあったと言われてます。

そんな、古式ゆかしい田山花踊りにぜひ一度お越しいただき、秋の一日、古にタイムスリップしてみてくださいはどうか。



【問合せ先】

諏訪神社 07439-4-0616
南山城村産業生活課
07439-3-0101

【アクセス】

JR関西本線「月ヶ瀬口」駅から
三重交通バス「宮ノ前」下車

三重交通バス問合せ先

0595-66-3715